NT-780T

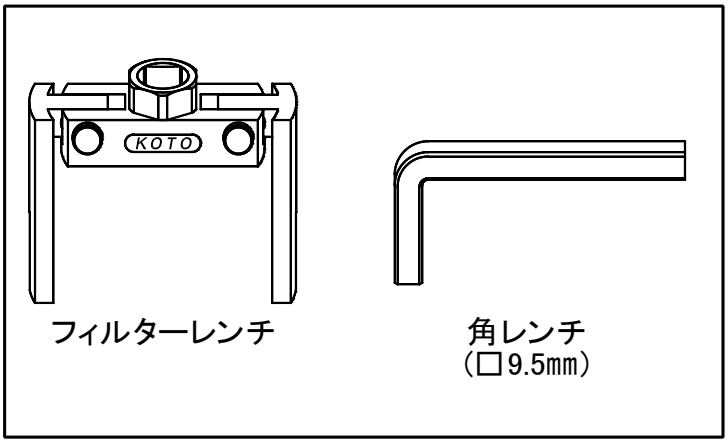
〈フィルター交換式〉トヨタオイルフィルターレンチ

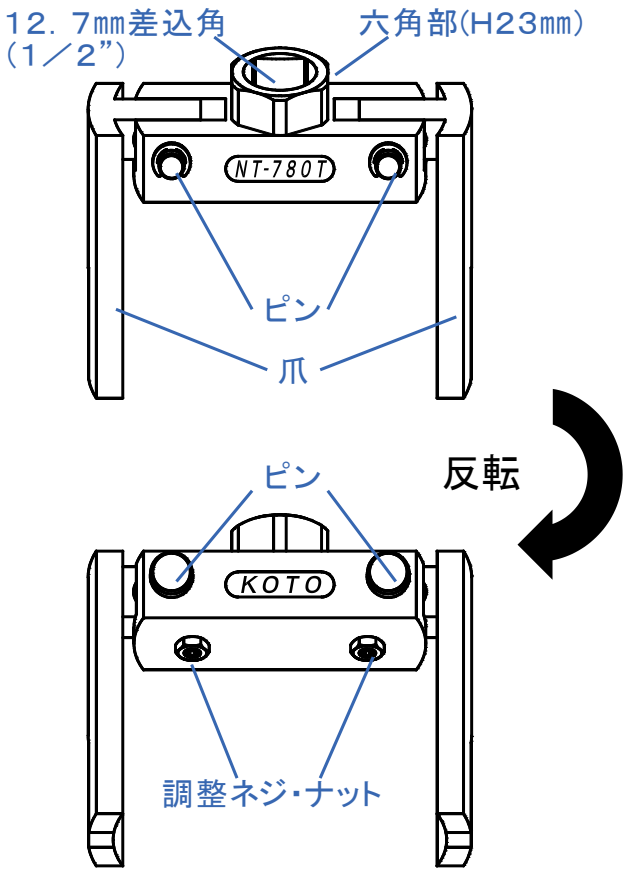
取扱説明書

※この度はKOTO製品をお買求め頂きまして誠にありがとうございました。

※NT-780T(以下：本製品)はトヨタ車の濾紙交換式のオイルエレメントキャップの脱着作業専用工具です。
それ以外の目的、用途には使用しないで下さい。

セット内容・各部名称





上記名称は取扱説明の為記載したもので、
部品として供給出来ない物もございます。

使用方法

～対象エレメントキャップの確認～

図1の寸法を確認し爪幅サイズを切り替えます。

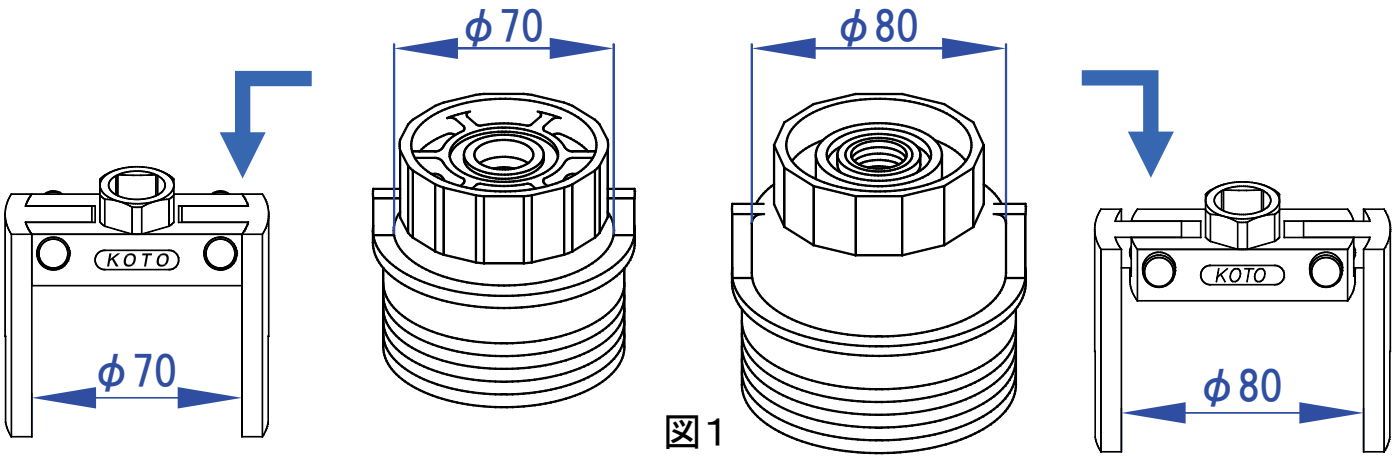


図1

～爪幅サイズの切り替え～

【大きいサイズ(φ80)に対応させる】

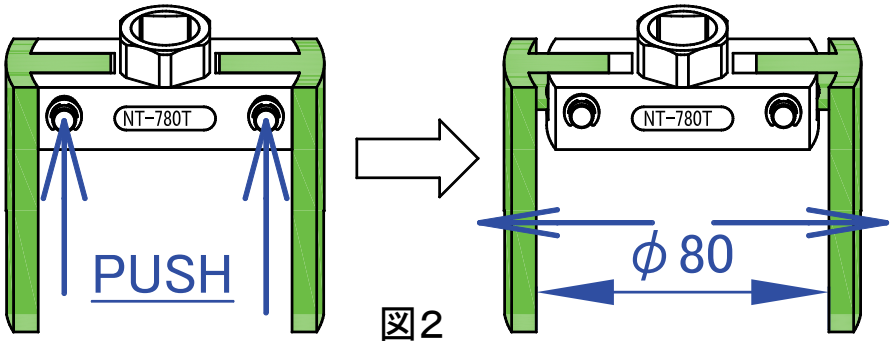


図2

『NT-780T』の刻印側のピン2ヶ所を押す事で両側に爪が広がります。(図2)

※広がると自動的に爪はロックされますが、場合によりロックが不完全な場合があります。
その際は爪及びピンを動かしロックさせて下さい。

※可動説明の為色付けしてあります。

【小さいサイズ(φ70)に対応させる】

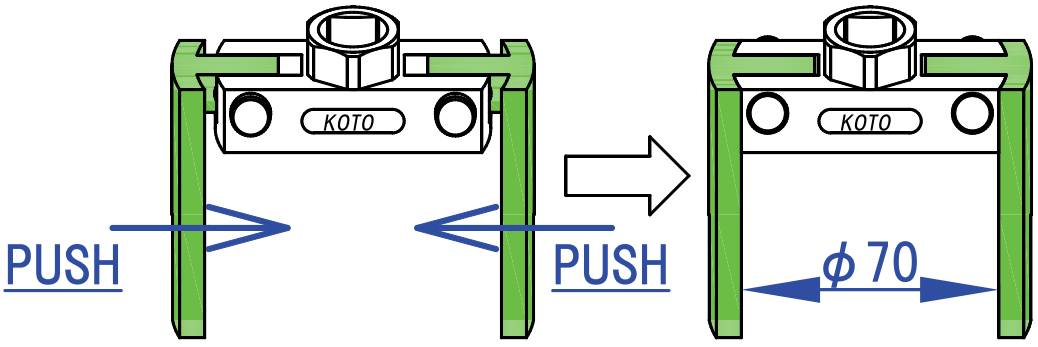


図3

左右の爪を中心に向かって押すことで爪幅が狭くなります。(図3)

※場合によりロックが不完全な際は爪及びピンを動かしてロックさせて下さい。

※可動説明の為色付けしてあります。

～セット方法～

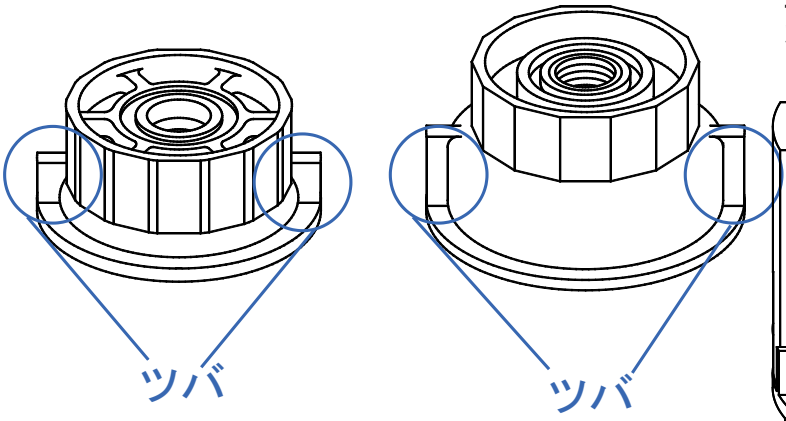
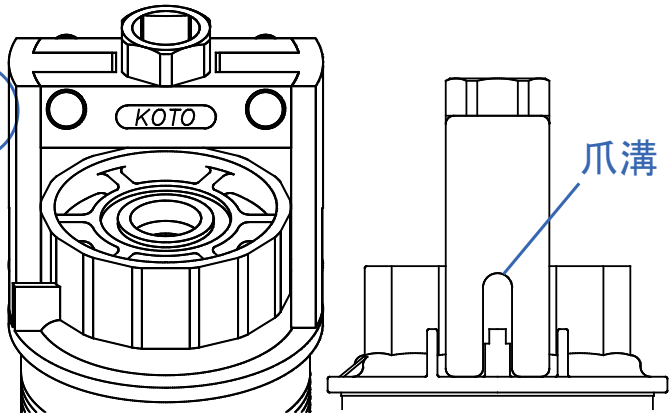


図4

エレメントキャップのツバ部分に本製品の爪溝がシッカリと挟み込む様にセットします。(図4)



【プラスチックキャップ使用例】

⚠ プラスチックキャップの場合は太いツバに掛けて使用して下さい。

～廃油抜きボルト共廻り防止作業方法～

廃油抜きボルト(図5)が付いているエレメントキャップには、付属の『角レンチ』を併用して廃油抜きボルトだけを緩める事が出来ます。

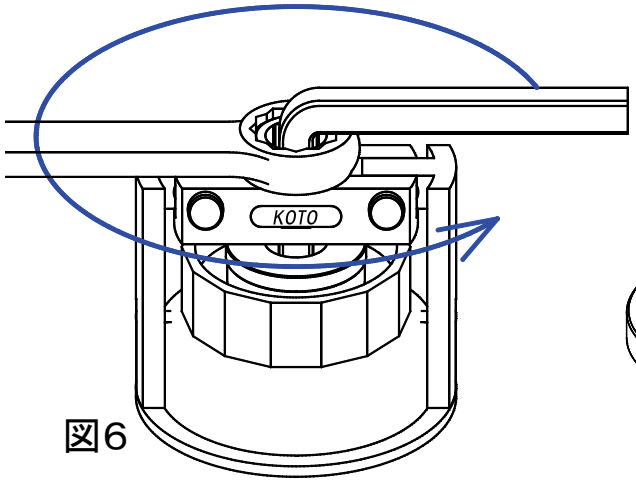
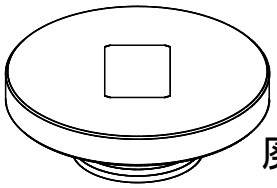


図6

『角レンチ』だけで緩めようとすると外側のエレメントキャップごと緩んでしまう場合があります。
フィルターレンチ中央の六角部にメガネレンチ等でエレメントキャップを固定しながら角レンチだけを廻し緩めて下さい。(図6)



廃油抜きボルト
図5

～エレメントキャップの脱着～

エレメントキャップの脱着はフィルタレンチ中央にある□12.7㎜(1/2″)若しくは六角部(H23㎜)にレンチ等の工具を使用し回転させます。

プラスチックキャップのツバは短くアルミキャップに比べ掛かりが浅い為、本製品をキャップ側に押し付け慎重に作業を行って下さい。

※その他エレメント交換作業に関しましては整備書、作業要領書に従い行って下さい。

⚠ エレメントキャップのツバにシッカリと爪溝が掛かった状態をご確認の上、作業を開始して下さい。
掛かりが浅かったり、不安定な状態で作業した場合、エレメントキャップを破損させる恐れがあります。

⚠ 一部の車種でエレメントキャップとオイルパンが接近している車種があります。
設計上使用可能ですが本製品が少しでも傾いた状態で作業(回転)するとオイルパンに干渉する恐れがありますのでご注意下さい。

⚠ インパクトレンチ等は使用しないで下さい。

⚠ プラスチックタイプのエレメントキャップは200N・m以上の力が掛かると、破損の恐れがあります。
締め過ぎには十分ご注意下さい。
【参考エレメントキャップ締め付けトルク：25±5N・m】

～調整ネジ・ナット～

本製品の裏側に『調整ネジ・ナット』が付いています。(図7)

調整ネジの位置(締め・緩め)によりガタ付を調整する事が出来ます。

⚠ 固く締め過ぎた場合は爪の可動が困難になりますのでご注意下さい。

⚠ 使用前後には『調整ネジ・ナット』の緩みがないかご確認下さい。

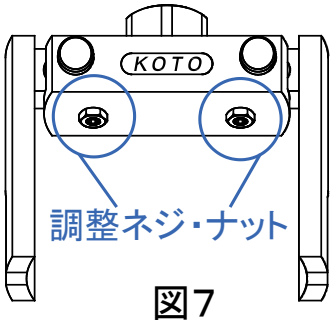


図7

使用上の注意事項

⚠ 本製品の分解及び改造は行わないで下さい。

⚠ 落下等の強い衝撃を与えないで下さい。
衝撃により部品が外れたり、破損する恐れがあります。

⚠ 本製品はエレメントキャップのツバ部分を利用してエレメントキャップを脱着する専用工具です。
ツバ以外の部分や他の目的には使用しないで下さい。

⚠ 200N・m以上の力で使用しますとエレメントキャップ若しくは本製品が破損してしまう恐れがありますのでご注意下さい。

⚠ 使用前後には必ず本製品の確認を行い、部品の割れ・曲がり等の異常が無い事を確認して下さい。異常がある場合は使用しないで下さい。

⚠ 使用中に付いたオイルやゴミ等はていねいに取り除き雨風の当らない場所で保管して下さい。

⚠ 可動部には定期的に潤滑剤を塗布して下さい。

※本製品は消耗品です。

KOTO

江東産業株式会社